

タイトル	伊藤淑子教授 略歴・著作目録等
著者	
引用	季刊北海学園大学経済論集, 58(4)
発行日	2011-03-31

伊藤淑子教授 略歴・著作目録等

1. 学 歴

昭和47年3月	上智大学文学部社会学科卒業
昭和57年4月	上智大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程入学
昭和58年9月	英国ロンドン大学政経学部修士課程研究生（至昭和59年2月）
昭和60年3月	上智大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程修了
昭和61年4月	日本女子大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士後期課程入学
平成元年1月	米国ボストンカレッジ客員研究員（至平成元年6月）
平成元年3月	日本女子大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士後期課程満期退学
昭和60年3月	文学修士学位授与（上智大学第3640号）
平成6年10月	博士（社会福祉学）学位授与（日本女子大学乙第6号）
平成18年9月	英国オックスフォード大学客員研究員（至平成18年12月）

2. 職 歴

昭和48年4月	東京都立清瀬小児病院（医療ソーシャルワーカー）
昭和51年4月	東京都立府中病院（医療ソーシャルワーカー）
昭和56年4月	東京都立大久保病院（医療ソーシャルワーカー）
昭和62年4月	淑徳大学社会福祉学部非常勤講師（「ソーシャルワーク論」「医療ソーシャルワーク論」担当，至昭和63年3月）
昭和63年4月	都立松沢病院精神医療ソーシャルワーカー（平成5年3月退職）
平成2年4月	茨城キリスト教大学文学部非常勤講師（「老人福祉論」担当，至平成5年3月）
平成4年8月	教員組織審査 東日本学園大学 助教授（専任） （「社会福祉援助技術各論Ⅰ」「医療福祉ソーシャルワーク論」「社会福祉援助技術演習」「医療福祉専門演習」「社会福祉援助技術現場実習」「医療福祉実習」担当）
平成5年4月	北海道医療大学看護福祉学部医療福祉学科助教授
平成5年4月	北星学園大学文学部非常勤講師（「ソーシャルワーク方法論Ⅰ」担当，至平成10年3月）
平成6年4月	東日本学園大学から北海道医療大学に校名変更
平成7年8月	教員組織審査 北海道医療大学大学院薬学研究科 助教授（兼担）M可 （「患者コミュニケーション論」担当）
平成8年12月	教員組織審査 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科臨床福祉学専攻修士課程教授（マル合）
平成9年4月	北海道医療大学看護福祉学部医療福祉学科 教授（現在に至る）
平成9年4月	北海学園大学経済学部非常勤講師（「社会保障論担当」，至平成10年12月）

平成11年1月 北海学園大学経済学部経済学科教授(現在に至る)

3. 所属学会

昭和58年4月 日本社会福祉学会会員(平成10年より学会誌査読委員, 現在に至る)
 平成元年4月 日本社会老年学会会員(至平成5年3月)
 平成3年4月 厚生省精神障害者福祉推進モデル事業評価検討委員会委員(至平成6年3月)
 平成6年11月 北海道総合リハビリテーションシステム総合相談ガイドブック作成委員会委員(至平成7年3月)
 平成7年3月 北海道ソーシャルワーカー協会会員(平成8年より理事, 現在に至る)
 平成7年3月 北海道社会福祉学会会員(平成7年より理事, 現在に至る)
 平成7年9月 北海道処遇方策検討委員会委員(至平成9年3月)
 平成8年9月 北海道児童虐待事例検討委員会委員(至平成9年3月)
 平成9年7月 北海道児童虐待マニュアル作成委員会(至平成10年3月)
 平成11年4月 社会政策学会会員
 平成11年4月 北海道経済学会会員
 平成13年11月 札幌市市立高等学校・高等看護学院の大学化懇話会委員(至平成13年12月)
 平成14年4月 経済統計学会会員
 平成14年4月 財団法人北海道高齢者問題研究協議会編集委員(至平成16年3月)

4. 研究業績

著 書

1980年5月	共著 神経難病の実践的ケア論	看護の科学社
1986年9月	共著 在宅ケア—その基盤づくりと発展への方法論—	文光堂
1990年2月	共著 社会政策と社会行政—新たな福祉の理論の展開をめざして—	法律文化社
1991年11月	共著 介護ハンドブック	光生館
1991年12月	共著 保健医療における専門ソーシャルワーク	中央法規出版
1992年2月	共著 老人医療への新しいアプローチ—全人的評価とケア—	医学書院
1995年3月	共著 総合相談ガイドブック	北海道生活福祉部
1995年4月	共著 社会福祉援助技術演習	川島書店
1995年7月	共著 21世紀社会福祉学—人権・社会福祉・文化—	有斐閣

1996年2月	単著 社会福祉職発達史—米英日3カ国比較による検討—	ドメス出版
1996年4月	単著 社会福祉援助技術とは何か	一橋出版
1996年7月	共著 改訂版 社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル	全国社会福祉協議会
インプレス	共著 新・社会福祉学辞典	誠信書房
1999年1月	共著 世界の社会福祉第2巻「イギリス」	旬報社
1999年11月	共著 戦後社会福祉の総括と21世紀への展望 第1巻「総括と展望」	ドメス出版
1999年5月	単著 ケアカンファレンス実践ハンドブック	看護の科学社
2000年2月	共著 臨床精神医学講座 Special Issue 第5巻「精神医療におけるチームアプローチ」	中山書店
2001年1月	単著 現代日本の社会サービス	日本経済評論社
2002年10月	共著 社会福祉辞典	大月書店
2003年6月	共著 新版社会政策 —構造改革の新展開とセーフティネット	ミネルヴァ書房
2003年7月	共著 社会福祉の原理と思想	有斐閣
2005年10月	共著 現代老年精神医療	永井書店
2007年12月	共著 エンサイクロペディア社会福祉学	中央法規出版
2009年12月 全289P	単著 21世紀イギリスの子どもサービス—日本への示唆	ドメス出版

学 術 論 文

1984年4月	単著 イギリスの医療ソーシャルワークに学ぶ	ソーシャルワーク研究 Vol. 10, No. 1
1984年9月	単著 ロンドンで見たホームヘルプ事業	月刊福祉 Vol. 67, No. 9
1985年2月	単著 英国における地域ケア	地域保健
1985年3月	単著 在宅サービスにおける医療ソーシャルワーカーの課題	修士論文 (上智大学)
1985年3月	共著 家庭政策の現状と今後の動向	国際社会保障研究 No. 35
1985年5月	単著 在宅ケアの発展における専門職の課題 (上)	月刊福祉 Vol. 68, No. 5

- | | | |
|----------|--|--|
| 1985年6月 | 単著 在宅ケアの発展における専門職の課題(下) | 月刊福祉
Vol. 68, No. 6 |
| 1986年8月 | 共著 社会保障の新しい潮流 | 社会保険旬報
No. 1550 |
| 1986年9月 | 共著 家庭政策の動向 | 判例タイムズ
No. 605 |
| 1990年5月 | 単著 アメリカのソーシャルワークと精神療法 | 医療ソーシャルワーク
No. 37 |
| 1990年10月 | 単著 痴呆患者のケアと社会対策 | メディチーナ
Vol. 27, No. 11 |
| 1991年2月 | 単著 医療ソーシャルワーカーの業務 | ソーシャルワーカー
No. 2 |
| 1991年3月 | 共著 地域へのソーシャルワークー精神障害者へのアプローチ | 公衆衛生
Vol. 55, No. 3 |
| 1991年11月 | 単著 ケースマネジメントを問いなおす | 社会福祉研究
No. 52 |
| 1991年11月 | 共著 東京都における痴呆老人精神科医療サービスの現状と問題点 | 精神神経学雑誌
Vol. 93, No. 11 |
| 1992年2月 | 単著 自治体行政の専門化と市民性 | 都市問題
Vol. 82, No. 10 |
| 1992年4月 | 単著 老人福祉には高度の行政技術が必要だ | エコノミスト
Vol. 70, No. 19 |
| 1994年10月 | 単著 社会福祉職発達史研究ー米英日3ヶ国比較による検討ー | 博士論文
(日本女子大学) |
| 1995年3月 | 共著 知的障害児の親に対する障害の告知に関する研究 | 北海道ノーマライゼーション研究
No. 7 |
| 1995年9月 | 単著 Social Work Development in Japan | Social Policy and Administration
Vol. 29, No. 3 |
| 1997年4月 | 単著 アメリカにおけるソーシャルワークとケースマネジメントの動向 | 海外社会保障情報
第118号 |
| 1997年10月 | 単著 医療ソーシャルワークのキャリアラムのあり方ー日本におけるソーシャルワークの分野特定に関する一考察ー | ソーシャルワーク研究
Vol. 23, No. 3 |
| 1999年10月 | 単著 家庭内介護におけるアビューズと高齢者の人権 | 老年精神医学雑誌
Vol. 10, No. 10 |
| 2001年2月 | 単著 在宅介護におけるアビュースー地域チームの支援を目的とした継続的事例検討の試み | 老年精神医学雑誌
Vol. 12, No. 2 |

2003年3月	単著 被災地における災害弱者の生活とケア—虻田町保健師らによる高齢者への援助を中心に—	北海学園大学開発研究所「開発論集」第71号
2004年9月	単著 日本におけるケアマネジメントの特徴—看護職の進出—	社会政策学会誌第12号
2005年6月	単著 地域ケアにおけるケアマネジメントの発展—英日比較の視点から—	北海学園大学学園論集124号
2006年6月	単著 栗山町の保健福祉サービス	北海学園大学学園論集128号
2008年9月	単著 日本における子ども保護サービスの再検討	北海学園大学学園論集137号

その他：学会発表

1981年6月	共著 地域医療機関と専門医療機関の相互連携の実際	第4回日本プライマリケア学会
1981年10月	単著 神経難病における在宅サービス	第29回日本社会福祉学会
1982年5月	共著 難病患者の在宅ケア—都立病院における医療継続の試み—	第68回東京都衛生局学会
1982年5月	単著 在宅ねたきり患者への援助	第30回日本医療社会事業大会
1982年10月	共著 在宅患者、障害者の生活条件の分析	第69回東京都衛生局学会
1982年10月	共著 在宅難病患者の援助課題	第46回日本公衆衛生学会
1983年6月	共著 在宅難病患者への社会福祉援助者の課題	第6回日本プライマリケア学会
1984年10月	単著 老人の在宅ケアにおけるチームワークの実際—日英比較の視点から—	第32回日本社会福祉学会
1984年10月	共著 医療継続における医療相談室の役割	第73回東京都衛生局学会
1986年5月	単著 医療 ソーシャルワーカーの養成—病院ソーシャルワーカーの立場から—	第6回日本医療社会事業学会シンポジウム
1989年6月	単著 Aids in Japan	An International Conference for Social Workers Boston, U.S.A
1990年8月	単著 医療福祉実践における研究課題	第2回医療福祉教育研究会 (指定発題)
1991年5月	共著 東京都協会における新人研修の試み	第11回日本医療社会事業学会
1994年7月	単著 医療・福祉従事者に望まれる「性格」とその育成	第3回日本性格心理学会シンポジウム
1995年6月	共著 社会福祉実習教育の基礎的考察	第12回日本社会福祉実践理論学会 (課題報告)

- | | | |
|----------|---|---------------------------------|
| 1995年6月 | 単著 社会福祉職発達史研究 | 日本女子大学社会福祉学会 1995年度大会 (特別発表) |
| 1995年9月 | 単著 医療福祉機関実習を通して、医療福祉教育を考える | 日本社会事業学校連盟第25回社会福祉教育セミナー (指定報告) |
| 1998年10月 | 単著 わが国におけるソーシャルワークとケアワークの研究状況 | 日本社会福祉学会第46全国大会シンポジウム |
| 1999年6月 | 単著 家庭内介護における不適切処遇 (abuse) と痴呆高齢者の人権 | 第14回日本老年精神医学会シンポジウム |
| 1999年11月 | 単著 福祉サービスにおける民間活力とNPOの役割 | 第84回北海道経済学会シンポジウム |
| 2002年9月 | 単著 北海道における高齢者への不適切対応 (abuse) の現状と課題—保健福祉領域における量的研究と質的研究の1例— | 経済統計学会第46回全国総会 |
| 2009年5月 | 単著 21世紀イギリスの子どもサービス—子ども保護, 家族支援, 保育サービスの統合 | 社会政策学会第118回大会 |

その他：報告

- | | | |
|----------|---|--------------------------------------|
| 1987年10月 | 共同 社会保障の新しいあり方と民間部門の役割 | 総理府社会保障審議会委託研究報告書
社会保障審議会事務局 |
| 1998年3月 | 単独 家族による高齢者の不適切対応に関する研究—保健・福祉専門職の関与の現状と課題 | 長寿科学総合研究平成9年度研究報告
長寿科学総合研究費中央事務局 |
| 1999年3月 | 単独 家族による高齢者の不適切対応の発生要因に関する研究 | 長寿科学総合研究平成10年度研究報告
長寿科学総合研究費中央事務局 |
| 2000年3月 | 単独 家族による高齢者の不適切対応の援助のあり方に関する研究 | 長寿科学総合研究平成11年度研究報告
長寿科学総合研究費中央事務局 |
| 2003年6月 | 単独 被災地における災害弱者の生活とケア—虻田町保健師らによる高齢者への援助を中心に— | 平成13~14年度科学研究費補助金〈基盤研究(B)(2)〉研究成果報告書 |

その他：翻訳

- | | | |
|---------|------------------------------|------|
| 1998年9月 | 共訳 回想法の実際—ライフインタビューによる人生の再発見 | 誠信書房 |
|---------|------------------------------|------|